

ウッディチキン／札幌例会

『例会レポート 184』

日 程	2024 年 6 月 12 日(水)
会 場	アリミノスタジオ札幌 札幌市中央区大通西 14-3-1 2F
参加者数	約 22 名 内県外 16 名
講演会内容	受付 14:00 開始 14:30～17:30 テーマ「向上のための学び」 寺子屋勉強会 ナビゲーター ウッディ代表 伊藤 豊氏 バグジ-代表 久保 華図八氏
懇親会	18 時 00 分～ 寿司・中国料理 福祿寿



ウッディチキン事務局

文章・写真提供／向井 健介

<http://woodychicken.com>

info@woodychicken.com

快晴の札幌！

今回の会場は大通公園の西端にある、アリミノさんのスタジオをお借りして開催しました。

大通公園にはいろんな種類のバラがとてもきれいに咲いていましたよー

今回はいつもの寺小屋とちょっと違って、前半に合同で、後半は経営者とアシスタントに分かれて開催しました。

いろんな方のお話を聞きとても刺激になりましたし、頭の中が整理できる時間になりました。

そして来年は、稚内開催になりました！



現状報告 ウッディ代表伊藤豊氏

・来年に向けての課題(中期計画づくり)

昨年の課題図書は、コグニティブ・コーポレート・コーチングの本・・・ 今年は、人事制度の未来の本・・・一言でいうと「心地よい職場ではなく緊張感のある職場」成長できる職場づくり

中期的に起こる出来事...

- ・ カルテ枚数の減少 & なかなか増えない
- ・ 物価の上昇と人件費の高騰
- ・ 国の負担の限界による税金などの取り立て
- ・ デビュー退社？退社時期が早くなる
- ・ **コロナ貸付金の返済始まる**
- ・ インボイス制度2026年本格化
- ・ **デジタル化が急加速、世界との交流が活発化**
- ・ 副業OKで個人事業主はさらに増加する
- ・ **教育型サロン停滞の次は衰退、圧倒的なシンカが必要**
- ・ 店舗展開は働き方の場づくり出店
- ・ 70歳まで働ける会社と人財育成
- ・ 地方都市で面貸し店、シェアサロン急増で飽和状態
- ・ 一つの会社に幾つかの働き方・評価制度(給与体系)が存在する
- ・ グループ化の中心は**理念と価値観、パーパス**

《 中期的な流れと課題と対策 》

- ①高年齢の客層のサロン(スタッフ含む)は衰退する。
- ②求人に失敗すると2年間立て直せない
- ③まず、経営者が変わる事、次に幹部の成長がサロン繁栄の力になる
- ④面貸店、シェアサロンの衰退がはじまる
- ⑤スタッフの給料(手取り)を上げるための増税対策が必要
- ⑥サロンの熱量はリーダーシップで上げるしかない
- ⑦インボイス、2026年・個人事業主に消費税
- ⑧日本は止まっている
- ⑨サロン内の心のつながりをどう作るか
- ⑩コロナ貸付で苦しむサロン
- ⑪店舗展開・リニューアルでの再構築
- ⑫求心力を持つサロン・求心力が無くなるサロン

中期的に必要な事

- ・ ビジョンと行動の覚悟・中期計画はサロンごとに進化
- ・ 力がある幹部が残る会社、年収1千万円に対応する
- ・ 全員参加型の投資と利益体質の組織づくり
- ・ 教育のシンカと幹部のレベルアップ
- ・ スタイリスト成長の壁と扉を教育に取り入れる
- ・ 幸せが目的で永く勤められるサロンづくり
- ・ 求人と教育は蓄積効果、成長するサロンづくり
- ・ 事業承継のノウハウは時代による変化で10年計画
- ・ 働き方の多様性に合わせた評価制度を作成
- ・ スタッフ個々の人生づくり(老後設計のノウハウ)
- ・ 客層戦略は顧客だけではなくスタッフの層づくり
- ・ 単価アップ&先端を行くスタイルメニュー開発
- ・ 明確でブレない理想のサロン像
- ・ サロン創りは待遇条件から求心力(空き抜けた魅力)へ向かう

先日、上海、杭州に行ったのは

今年、1月に資生堂チャイナから髪書房チャイナ経由で連絡があり、中国経済の落ち込みから美容室も売上が30%ダウン、日本のバブル景気崩壊に似ている。

このまま行くと空白の30年が起こりそうだ…

日本の美容室は、どうやって抜け出したのか教えて欲しい。と言う事で、一言で言うと、ビジネスモデルを変えないと空白の30年にはまってしまう。ですが、ボクとしては、中国の美容室の状況も知らないで、教えられない。と思い、自費で行き、

中国の200店舗級の美容室を2企業、カリスマ系2企業、マネジメント系美容室を1企業、日本人経営美容室のネットワークの方々と会食、そして、資生堂チャイナ、ミルボンチャイナ、タカラベルモントチャイナ、の会社を訪ねてディスカッションして来ました。最終日にマンダムチャイナ社長ローレンスさんにホテルで会いました。

それで、ボクが感じたことは、3月に台湾に行った時に、ヤマノ美容短期大学の講師をしていた、ダイメイソンさんにも、日本は止まっていますよね。今、台湾は、ヘアデザインは韓国に学び、経営は中国に学んでいます。と言われ、中国に言った時にも、韓国に行った時にも、今の日本の美容室は魅力が無い。と言われたので、コロナ騒ぎ後のビジネスモデルの変え方、新しく作成をし続けている理論などの話をし、日本の美容室は止まっていますが、伊藤豊は止まっていない！と啖呵を切ってきました。

7月、また上海に行きます。

今回からは、仕事、相手が費用を払います。

そして、今後、中国からも日本に来ることになると思います。

ウッディチキンは、創設当初と違い経営者が歳を取り、勢いや覇気、良い意味での野心が無くなった方々もあるので

World Beauty Network 構想

は、昨年ウッディチキン以外のサロンを中心に誘ってきました。でも、今回のウッディチキン北海道で少し感じた事があり、ウッディチキンのメンバーでもクレイジーな向上心を持っている方々は誘う事に決めました。



ウッディ新聞

Woody Chicken

6月号

2024年 6月1日〔曜日〕

発行元 NPO法人 ウッディチキン

ボランティア委員会



全壊した網小屋から撤去され
分類された定置網漁の道具

5月20日、NPO法人ウッディチキンは3、4月に続き能登地震の復旧ボランティアに行ってきました。今回も関東、中部、関西と多方面から有志が集まってくれました。これまで通り金沢駅に朝7時に集合組と現地地に直接入る組に分かれて目的地に向かいます。場所は、前回炊き出しをさせていただいた能登島北東部の「網小屋」とは漁師さんが使用する道具を保管しておく建物のこと。この辺りは古くから漁業が盛んで、漁を生業とした家が立ち並んでいました。ほぼ全壊状態。崩れた屋根瓦、朽ち落ちた梁や柱の木材、そして、定置網漁に使



う巻かれた網やウキなどの運び出しと撤去です。この日は曇天で時々雨もちらつき、かなり湿度も高まりました。皆さん汗だくになっての作業で、地震発生からの時間の経過を感じました。運び出しを終えるのと分類です。木材と金属も分けなければなりません。使えるものは残しておきます。そしてトラックへの積み込み。ここからはバケツリレーの要領で、みんなで息を合わせて手渡ししていき、搬入は用意していただいた4tと2tのトラックで合計3往復行いました。

まだまだ足りないボランティア

母屋へ上がらせてもらい、お茶もいただいたのですが、終始笑顔で気丈に振舞われ、「なかなか漁にも出れず、この一か月収入が無いですよ」とも。震災をしつかりと受け止めたこの地で生きてきた覚悟というか、強さを感じることができました。能登半島地震は間もなく発生から半年を迎えようとしています。復興への道は一軒一軒やっつけていくしかないかもしれません。そのためにはまだまだ人手が足りておりません。ぜひ今後ともご支援をよろしくお願い致します。



母屋で昼食をいただきました

また、今回は網小屋の家主さんの奥様が、昼食に仕出し弁当を用意して下さいました。

寺子屋勉強会

経営者とスタッフに分かれてテーブルごとにディスカッションしました

経営者

スタッフ

寺子屋勉強会

ナビゲーター ウッティ代表 伊藤 豊氏

ハグジ-代表 久保 華図八氏

課題図書

経営者は「**人事制度の未来**」福留 幸輔

スタッフの方は「**君に成功を贈る**」中村天風

が課題図書です、当日その本を持参しどのような影響を受けたのかなど、語れるように参加してください。

人事制度 の未来

—「給与」と「評価」を分離せよ！—

Fukutome Koukai
福留 幸輔

君に 成功を贈る

HERE IS A TICKET TO SUCCESS NAKAMURA TEMPU



中村天風 述

魂に直接に語りかけてくる
感動の教え54項目…

東郷平八郎、原敬、松下幸之助、ロックフェラー三傑など、
時代のリーダー達がなぜ天風師に心服したのか…
希望に満ち溢れる若者たちを前に、熱く、優しく、しかも
面白く“人生成功の哲学”を解き明かす…
名講演の魅力をそのままに、いま聴く感動の教え54項目！



懇親会



以上です。
ウッディ事務局
向井健介